

平成20年3月期中間 会社説明

平成19年12月5日



(証券コード:6736)

- はじめに
- 業績概況
- 中間連結決算状況
- セグメント別中間連結決算状況
- サン電子グループの事業フィールド
- サン電子の事業
- パチンコ関連事業
- デジタルコンテンツ関連事業
- グローバル関連事業

投資家のみなさまへ

サン電子グループは、多様化する生活スタイルと余暇時間の中で、常に新しい「遊び」とネットワーク構築のための「結び」のスタイルを提供し続けています

コミュニケーション&エンターテインメントをキーワードにサービス型事業を展開し、ビジネスモデルの転換を通じた既存事業の成長をめざします
またサン電子独自の圧倒的な技術力を武器に、お客様にとって「ナンバーワン」になること、新しいエンターテインメント世界の開拓者になることをめざします
さらに「新規事業への積極果敢な挑戦」を続けることで、より価値ある商品とサービスを社会の皆さまに提供し続けてまいります
サン電子は、お客様に楽しみと感動を提供するコト作り企業をめざします

会社説明の趣旨と注意事項

株主・投資家のみなさまにサン電子グループについてよりご理解いただくため、年2回、ホームページ上で会社説明をさせていただいております。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

注意事項:

この資料には、本資料発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。今後の経済情勢・市場・競合状況等の変動に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績は予測と大幅に異なる可能性があります。それにとまない、将来への投資等、戦略を大幅に見直す場合もあります。

なお、この資料の金額は、切捨てで表示してあります。

※ 本資料に掲載されている名称は、各社の商標もしくは登録商標です。

平成20年3月期中間連結実績（前年同期比）

| | | | |
|-------|-------------------|--------|-----------------|
| ○売上高 | 4,280百万円(19.8% 減) | ○経常利益 | 181百万円(42.6% 減) |
| ○営業利益 | 73百万円(74.9% 減) | ○中間純利益 | 131百万円(14.4% 減) |

■ パチンコ関連事業

- ・ 制御基板事業は、遊技機メーカーの発売機種数がさらに増加し、1機種当たりの販売台数が減少したこと等により売上高が減少
- ・ ホールシステム事業は、規則改正に伴う設備投資の減少と価格競争の激化により、情報化システムの販売が厳しい状況での推移となる

■ 情報・通信事業(デジタル家電・IT情報通信関連事業)

- ・ デジタル機器・モバイル通信機器関連製品は、販売製品数の絞り込みや収益力の改善を図るとともに語学学習サポート機器「Talk Master II」の各種キャンペーンの実施・品質向上等を推進するも、厳しい状況で推移
- ・ コンテンツ配信サービスについては、人気のパズルゲーム「上海」や話題のホラーゲーム「歪みの国のアリス」を楽しむことができる携帯公式ゲームサイトの月額課金会員及びゲームソフトのダウンロード販売が順調に増加

■ 樹脂成形事業

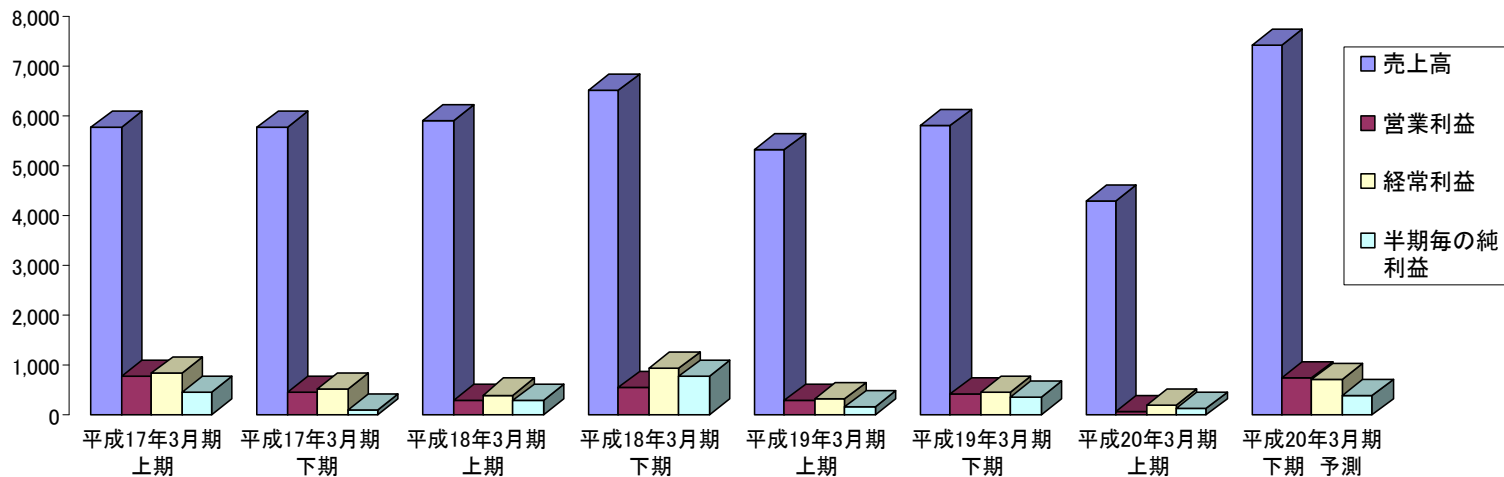
- ・ パチンコ遊技機関連の樹脂成形加工品が順調に推移したため、売上高は前年同期比19.1%の増加

■ その他の事業

- ・ 金型販売の売上高は前年同期比48.4%減となる

中間連結決算状況

半期ごとの連結業績の推移



(単位:百万円)

| | 平成17年3月期 上期 | 平成17年3月期 下期 | 平成18年3月期 上期 | 平成18年3月期 下期 | 平成19年3月期 上期 | 平成19年3月期 下期 | 平成20年3月期 上期 | 平成20年3月期 下期 予測 |
|---------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------------|
| 売上高 | 5,770 | 5,784 | 5,906 | 6,504 | 5,335 | 5,796 | 4,280 | 7,420 |
| 営業利益 | 783 | 448 | 277 | 545 | 293 | 415 | 73 | 747 |
| 経常利益 | 844 | 521 | 402 | 920 | 315 | 449 | 181 | 719 |
| 半期毎の純利益 | 463 | 100 | 280 | 779 | 153 | 360 | 131 | 389 |

中間連結決算状況

平成20年3月期 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 平成20年 3月期中間 | 平成19年 3月期中間 | 増減 | | 平成20年 3月期中間 | 平成19年 3月期中間 | 増減 |
|-----------|----------------|----------------|-------|----------------|----------------|----------------|-------|
| 流動資産 | 6,588 | 6,759 | △ 171 | 流動負債 | 3,927 | 2,431 | 1,496 |
| 現金及び預金 | 2,760 | 3,406 | △ 646 | 支払手形及び買掛金 | 1,741 | 1,420 | 321 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,377 | 2,042 | 335 | 短期借入金 | 830 | 330 | 500 |
| 有価証券 | 8 | 77 | △ 69 | 1年内返済予定長期借入金 | 136 | 12 | 124 |
| たな卸資産 | 1,105 | 1,013 | 92 | 未払法人税等 | 119 | 8 | 111 |
| 繰延税金資産 | 234 | 160 | 74 | 賞与引当金 | 212 | 179 | 33 |
| その他 | 105 | 58 | 47 | 役員賞与引当金 | 5 | 2 | 3 |
| 貸倒引当金 | △ 4 | 0 | △ 4 | 製品保証引当金 | 28 | 0 | 28 |
| 固定資産 | 7,141 | 5,229 | 1,912 | その他 | 852 | 477 | 375 |
| 有形固定資産 | 2,151 | 2,076 | 75 | 固定負債 | 613 | 759 | △ 146 |
| 建物及び構築物 | 425 | 421 | 4 | 長期借入金 | 187 | 124 | 63 |
| 土地 | 1,295 | 1,295 | 0 | 繰延税金負債 | 252 | 255 | △ 3 |
| その他 | 430 | 359 | 71 | 土地再評価に係る繰延税金負債 | 13 | 13 | 0 |
| 無形固定資産 | 2,011 | 102 | 1,909 | 退職給付引当金 | 89 | 62 | 27 |
| のれん | 1,934 | 0 | 1,934 | 役員退職慰労引当金 | 38 | 0 | 38 |
| その他 | 76 | 102 | △ 26 | 長期未払金 | 32 | 304 | △ 272 |
| 投資その他の資産 | 2,978 | 3,050 | △ 72 | 負債合計 | 4,541 | 3,191 | 1,350 |
| 投資有価証券 | 2,377 | 2,559 | △ 182 | 資本金 | 891 | 865 | 26 |
| 繰延税金資産 | 494 | 394 | 100 | 資本剰余金 | 904 | 878 | 26 |
| その他 | 124 | 113 | 11 | 利益剰余金 | 7,802 | 7,472 | 330 |
| 貸倒引当金 | △ 18 | △ 16 | △ 2 | その他有価証券評価差額金 | 39 | 34 | 5 |
| | | | | 土地再評価差額金 | △ 437 | △ 437 | 0 |
| | | | | 為替換算調整勘定 | △ 11 | △ 17 | 6 |
| | | | | 新株予約権 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | 純資産合計 | 9,189 | 8,797 | 392 |
| 資産合計 | 13,730 | 11,988 | 1,742 | 負債純資産合計 | 13,730 | 11,988 | 1,742 |

中間連結決算状況

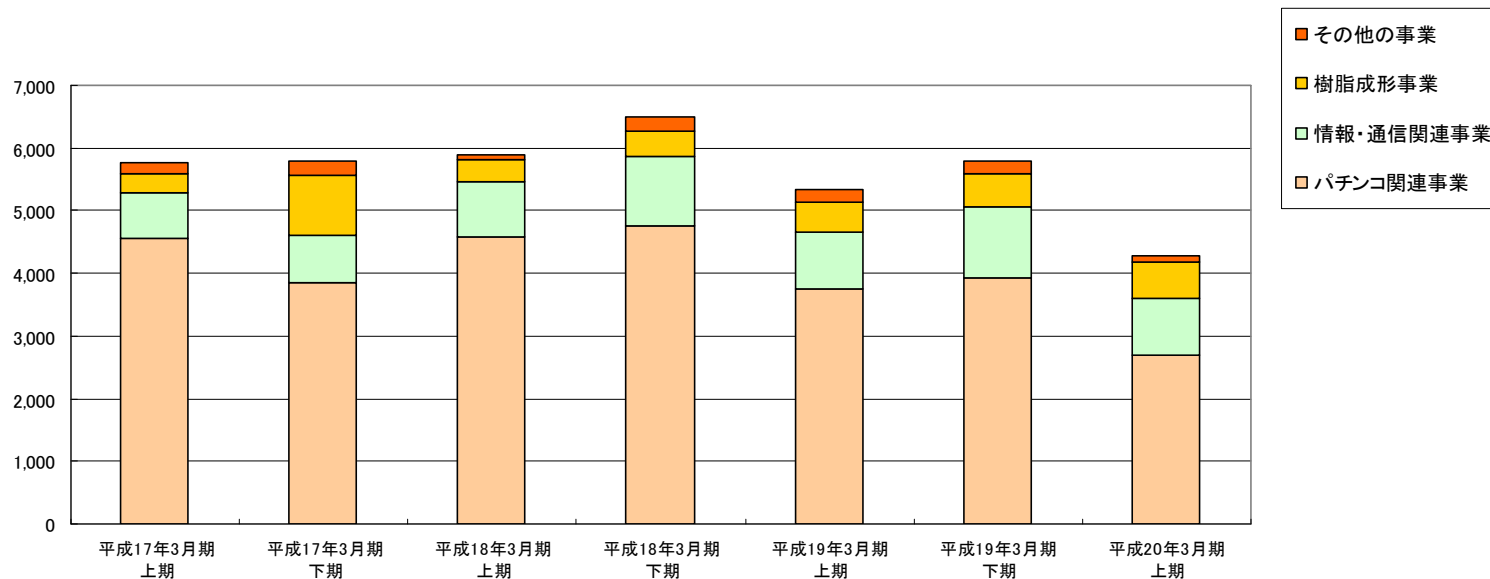
平成20年3月期 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

| | 平成20年3月期 上期 | 平成19年3月期 上期 | 前年 同期比 | 増減 |
|--------------|----------------|----------------|-----------|---------|
| 売上高 | 4,280 | 5,335 | 80.2% | △ 1,055 |
| 売上原価 | 2,549 | 3,333 | 76.5% | △ 784 |
| 売上総利益 | 1,731 | 2,002 | 86.5% | △ 271 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,658 | 1,709 | 97.0% | △ 51 |
| 営業利益 | 73 | 293 | 25.1% | △ 220 |
| 営業外収益 | 129 | 44 | 289.8% | 85 |
| 営業外費用 | 21 | 22 | 98.0% | △ 1 |
| 経常利益 | 181 | 315 | 57.4% | △ 134 |
| 特別利益 | 11 | 43 | 26.8% | △ 32 |
| 特別損失 | 117 | 59 | 197.7% | 58 |
| 税金等調整前中間純利益 | 75 | 299 | 25.2% | △ 224 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 14 | 2 | 505.0% | 12 |
| 法人税等調整額 | △ 70 | 143 | — | △ 213 |
| 中間純利益 | 131 | 153 | 85.6% | △ 22 |

セグメント別中間連結決算状況

セグメント別売上高推移



(単位:百万円)

| | 平成17年3月期 上期 | 平成17年3月期 下期 | 平成18年3月期 上期 | 平成18年3月期 下期 | 平成19年3月期 上期 | 平成19年3月期 下期 | 平成20年3月期 上期 |
|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| パチンコ関連事業 | 4,547 | 3,857 | 4,581 | 4,756 | 3,748 | 3,932 | 2,684 |
| 情報・通信関連事業 | 732 | 742 | 875 | 1,104 | 912 | 1,118 | 921 |
| 樹脂成形事業 | 307 | 955 | 356 | 419 | 483 | 531 | 576 |
| その他の事業 | 183 | 230 | 92 | 226 | 190 | 216 | 98 |

サン電子グループの事業フィールド

パチンコ関連事業

- ・ 制御/液晶基板 etc
- ・ ホールコンピュータ etc

デジタルコンテンツ関連事業

- ・ 携帯サービス etc
- ・ デジタル家電

グローバル関連事業

コンテンツサービス etc

サン電子はグループ全体でビジョン及び中・長期計画の達成をめざします！

パチンコ関連事業 : アミューズメントユニット・サンタックネットユニット、イーDream (株)
デジタルコンテンツ関連事業 : サンソフトユニット、新規事業開発部、(株)サンコミュニケーションズ
グローバル関連事業 : 海外ビジネス部、Cellebrite Mobile Synchronization Ltd.

サン電子の事業

I パチンコ関連事業 : 目標はシェアの拡大

ホールコンピュータ部門では、積極的なシステムの開発・販売に加えサービス事業を強化し、業界でのシェア拡大をめざします

制御/液晶基板部門では、ハードだけでなくコンテンツの強化、および新技術の研究開発を積極的に行い、業界No1の機種提供をめざします



DUO)STATION



大人気のトークマスター

II デジタルコンテンツ関連事業 : 開発と販促の強化

コンテンツでは開発を強化、新規サイト・タイトルを立ち上げます
デジタル家電では、SUNTACブランドのiPod周辺機器を中心に、デジタルエンターテインメントの世界を広げる「面白さ・楽しさ」を追求した商品展開をめざします
またサン電子ブランドの一層の定着をめざしオンラインショップ「サン電子ダイレクト」における販売キャンペーン展開を強化
コールセンター等のサポートを強化し、サービスをより充実させます

III グローバル関連事業 : 本格的にスタート

グローバルビジネスの布石として、今期はイスラエルのIT企業Cellebrite社の買収に成功
既存のコンテンツ事業とのシナジーを図りながら、成長が期待される世界の携帯電話市場へ挑戦していきます

パチンコホールシステム・制御/液晶基板

上期業況

パチンコホールシステム

遊技機（パチスロ機）の入替によるその他設備投資の減少と価格競争の激化により、情報システムの販売は厳しく推移、売上高・営業利益ともに減少

遊技機横に設置する各台情報提供装置（Iクリア玉貸機：ST-10000CTK）や店舗向けASPサービス（優客：ユウキヤク）によるプレイヤー向け情報発信支援など集客につながるシステム構築とサービス提供を強化

制御/液晶基板

遊技機メーカーの発売機種数が増加したことにより、1機種あたりの販売台数が減少したため、売上高が減少



下期予想

パチンコホールシステム

パチンコホール経営を効率的かつ効果的に支援することを目指し、遊技機の情報リアルタイムで収集・分析するホールコンピューターシステムのさらなる性能と信頼性アップ、情報提供装置の販売拡大を展開
また各台情報提供装置の新機種（Webサンド：S300UMT）・機能の追加、店舗向けASPサービスの追加により、パチンコ店舗の集客につながるシステム構築とサービスの提供を強化

制御/液晶基板

市場競争の激化は予測されるものの、主力機種の販売を計画、巻き返しを図る予定
またホールおよびプレイヤーに選ばれる、勝てる機種作りを目指し、企画マーケティング力、およびコア技術開発力の強化を実施

デジタルコンテンツ

上期業況

「ナイトメア・プロジェクト」サイトは、新規開発タイトルの遅れが出たものの全体的には好調に推移
またキャラクター商品の販売では、発売と同時に売り切れ、再販を行うなど新たな展開を推進

コンテンツでは、新規サイトとして、「フルーツポッチ」（ソフトバンク）
「あなたの脳は男？女？」（au）を開設

また人気パズルゲーム「上海」がau、ソフトバンクでの会員数を順調に伸ばし、ロイヤルティ収入も計画を上回るなど、トータルとしては、売上計画を達成



下期予想

「ナイトメア・プロジェクト」サイトについては、新タイトルの開発をさらに強化
「上海☆娘」では下期よりサイトを大幅リニューアル、さらにユニークで、ファンの皆さまに一層楽しんでいただけるサイトの開設をめざす

またコンテンツでも会員数増加を目指し新コンテンツの各サイトへの投入などコンテンツ事業の拡大を図る予定



デジタルコンテンツ関連事業

デジタル家電

上期業況

語学ビジネス市場全体は前年度と比べ横ばい状況ではあるが、安価で費用対効果の高いラジオ講座は人気も高く『トークマスターⅡ』は堅調に推移

FMトランスミッター等のiPod周辺機器や携帯電話用USB接続ケーブルなどは参入メーカーが増え、価格競争気味ではあるが、市場も広がりシェアも伸びた

カラーバリエーションも加わり
人気のトークマスターⅡ



コストパフォーマンスに
優れた携帯接続ケーブル



サン電子オンラインショッピングサイト「サン電子ダイレクト」における直販限定のキャンペーン販売を積極的に展開した結果、売上も順調に伸びる



下期予想

堅調な語学学習市場を背景に、ラジオ講座ユーザーがもっと学ぶことのできる学習コンテンツの提供・拡大をめざす
また「トークマスターⅡ」はボーナス商戦や年度末需要に向けたキャンペーンなどによる販売促進を積極的に展開し、売上増をめざす

トークマスターⅡ



iPod 周辺機器ではFMトランスミッターの新商品を11月に投入、宣伝広告を増やし、販売に注力することで更なるシェアUPと売上増をめざす

左
iPod専用FMトランスミッター
「FMIP-305シリーズ」



右
汎用型FMトランスミッター
「FMIS-203シリーズ」

グローバル関連事業

上期業況

本年7月にイスラエル国のIT会社、
Cellebrite Mobile Synchronization Ltd.
(以下CB社)の株式を取得、子会社化

CB社は、創業1999年の成長著しいIT企業で
本社をイスラエル国ペタフティクヴァに置く
モバイルコンテンツトランスファーに関する
パイオニアとして、Motorola, Cricket, Sprint,
U.S. Cellularなど海外の主要な移動体通信事業
会社に対し、主要製品であるUMEシリーズを
提供している

UMEシリーズは、主に携帯電話に保存されて
いる電話帳・音楽・画像などのコンテンツデー
タの転送・バックアップする機器であり、
CB社は製品のソフトウェア開発・製造・販売
を展開

米国現地法人Cellebrite USA Inc.は、100%出資
の子会社で、所在地はニュージャージー州



下期予想

CB社とサン電子のモバイルコンテンツ
配信事業との協業により、CB社の持つ
移動体通信事業会社とのネットワークを
利用したコンテンツ配信事業の世界展開を
めざしていく予定

またCB社のUMEシリーズのアジア地区に
おける市場調査を開始し、グローバル事業を
本格的にスタートさせる



CB社本社に入るビル（イスラエル国ペタフティクヴァ）

サン電子株式会社

平成20年3月期中間 会社説明

この資料に関する問合せ先：

サン電子株式会社 I R担当役員 亀ヶ井克寿
人事総務部 丹羽 章子

Tel : 0587-55-2201 Fax : 0587-55-3851

ir@sun-denshi.co.jp

<http://www.sun-denshi.co.jp>

